

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
 【発行日】 令和 5 年 1 月 11 日 (2023.1.11)

【公開番号】 特開 2022-69273 (P2022-69273A)
 【公開日】 令和 4 年 5 月 11 日 (2022.5.11)
 【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-082
 【出願番号】 特願 2020-178363 (P2020-178363)
 【国際特許分類】

G 2 1 K 7/00 (2006.01)

G 2 1 K 1/00 (2006.01)

G 2 1 K 1/06 (2006.01)

【F I】

G 2 1 K 7/00

G 2 1 K 1/00 X

G 2 1 K 1/06 G

G 2 1 K 1/06 B

【手続補正書】
 【提出日】 令和 4 年 12 月 12 日 (2022.12.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 4 9
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】

【0 0 4 9】

高分解能 X 線検出器 190 には、R i g a k u 製高分解能 X 線カメラ X s i g h t X R M を用いた。試料として分解能評価用のテストチャートの X 線像を撮影した。分解能評価用のテストチャートとしては、N T T - A T 製の厚膜高解像度タイプの X 線チャート (X R E S O - 5 0 H C、最小寸法 50 nm、パターン高さ 500 nm) を用いた。計算上の X 線像の画素分解能は、23 nm であった。なお、反射ミラー型 X 線レンズ部 150 の倍率と高分解能 X 線検出器 190 の空間分解能と X 線像の画素分解能の関係は、以下の表 2 の通りである。

【表 2】

結像部の倍率 (倍)	撮像部の空間分解能 ($\mu\text{m}/\text{pixel}$)	画素分解能 ($\mu\text{m}/\text{pixel}$)
M	A	$B = A/M$

10

20

30

40

50